平成３０年度　大牟田文化会館　事業計画

はじめに

大牟田文化会館は、有明広域市町村圏域の文化の中核施設であり、地域の文化振興の拠点です。

運営理念として、地域の人々とともに、文化を通した「ふるさと」づくりに取り組むことを掲げ、基本方針を、地域文化が「ひろがる・たかまる・はばたく」こととしています。この基本方針に則り、地域の人々や文化団体等とのネットワークを大切にしながら、様々な事業に取り組んでいます。

質の高い芸術文化鑑賞の機会を提供する鑑賞事業、次世代を担う地域の人材を育む育成事業、文化を広げ、表現活動への参加を通して創造性を高める参加型事業、これらを柱として、人々が多彩な文化活動に接する機会を得て、暮らしの中に文化が“ひろがり”“たかまり”“はばたい”ていくことを目指していきます。

また、平成３０年度は、平成２９年１２月２７日付の内閣官房と文化庁の「文化経済戦略」に記されているように、産業、観光、まち・ひと・しごと等を含め、「文化」が行政全体に取り入れられ、文化政策が大きく変化していくことが予想されます。

大牟田文化会館も、より一層大牟田の文化の拠点としての責任と役割が求められるとともに、

第３期指定管理者の２年目を迎え、大牟田市の政策実現のパートナーとしての役割を果たしていくため、創意工夫による事業展開を図っていきます。

１　施設運営（貸館）事業計画

地域住民に文化活動の場を提供することを通してより一層地域文化の振興に寄与するという施設運営（貸館）事業の役割を果たすとともに、これまで培ってきた地域の人々との関わりを大事にし、まちづくりを通したネットワークの強化に努めていきます。

また、収益事業として、幅広い利用者へ施設を提供することにより地域の様々なニーズに応え、地域の中核である公共施設としての役割を果たすとともに、公益目的事業の充実に資するよう経営基盤の安定に努めるとともに、施設の活用により、より多くの方々にご利用いただくため、更なるサービス向上に取り組みます。

（１）魅力ある施設づくり

圏民ロビー・コネクションホールを活用した展示イベント等の取り組みが定着し、来館者に好評を得ています。今後も季節や催し物にちなんだ飾りつけ等とも合わせて充実を図り、より親しみの持てる施設を目指します。

迅速丁寧な接客や、アンケート・苦情等への迅速且つ細やかな対応を図り、また掲示板・表示等も必要に応じ増設し、より使いやすく快適な施設となるよう努めます。

ホール・展示室・会議室等を使用しての催し開催について具体的アドバイスを交え相談にのるなど、新規利用者にもわかりやすい対応を行います。

予約状況によっては催しの内容に見合った近隣施設を紹介するなど、地域全体の文化活動の活性化に寄与し、将来的な利用増に繋げます。

また、憩いのｍｏｒｉ（旧レストランスペース）の利活用については、文化庁が提唱する「文化経済戦略」等を参考にしながら、今後とも、日頃のきめ細かなサービスの積み重ねにより、楽しく魅力ある施設づくりに継続的に取り組んでいきます。

（２）広報活動の強化

貸館における催しや教室・サークル活動等を広く地域に紹介する広報活動は、施設を利用していただいている文化活動者に好評であり、会館情報誌のイベントガイドでの告知や施設紹介チラシの配布等もあわせて、ホームページでの利用案内や駐車場の混雑予想カレンダーの掲示など様々な媒体により分かりやすく利便性に配慮した広報活動の充実に努め、施設の利用促進に繋げます。

平成３０年度の文化振興事業を通して、様々な人々とのネットワークを充実させることで、大牟田文化会館の応援団としての〝口コミ〟等での地域への広がりを図ります。

あわせて、地元新聞・情報誌とも連携しながら、より多くの情報を地域に発信していきます。

（３）休館日について

毎月第２、第４月曜日（月曜が休日の場合その翌日）を休館日とします。

４月	９日（月）・２３日（月）	５月	１４日（月）・２８日（月）
６月	１１日（月）・２５日（月）	７月	９日（月）・２３日（月）
８月	１３日（月）・２７日（月）	９月	１０日（月）・２５日（火）
１０月	９日（火）・２２日（月）	１１月	１２日（月）・２６日（月）
１２月	１０日（月）・２５日（火）	１月	１５日（火）・２８日（月）
２月	１２日（火）・２５日（月）	３月	１１日（月）・２５日（月）

※年末年始（１２月２９日～１月３日）は休館

２　施設管理事業計画

管理事業の役割は、地域文化振興の拠点であるとともに本市の財産である大牟田文化会館を、文化活動を行う地域住民をはじめさまざまな利用者が、安全、確実、快適に利用できるよう維持することです。

そのためには、施設・設備に対する適切な保守点検、迅速な修繕そして計画的な改修・更新等の業務が必要不可欠です。平成３０年度には開館から３２年が経ち、修繕・改修・更新を必要とする設備等も増えている中、今後さらに老朽化する施設・設備を安定的に維持していくため、日常の点検等による正確で詳細な状況の把握、委託業者との綿密な打合せ、行政との密接な連携、また職員の努力・工夫により、最小の費用で最大の効果を生み出すよう施設管理業務を実施します。

○委託予定業務　　**【法】・・・法定点検**

再委託予定業務（法定点検は業務名の右横に【法】と記載）		
業務名	再委託をする理由	点検･管理方法（回数）
特殊建築物定期点検【法】	資格と専門的知識が必要なため。	既存の建築物（3 年以内に点検・報告）（次回は、32 年度）
建築設備定期点検【法】	同上	昇降機以外の建築設備（毎年点検・報告）
非常用発電設備点検　　【法】	専門的技術・知識が必要であり、委託による損害補償等を含む費用対効果が高いため。	ガスタービンエンジン・発電機及び起動装置点検整備（年１回）
建築物環境衛生管理【法】	同上	室内環境測定（年６回）･水質検査（年２回）･残留塩素測定（年 48 回）・受水槽清掃（年１回）・排水設備清掃（年 2 回）・鼠昆虫駆除（年２回）
防災設備点検【法】	同上	自動火災報知設備・非常放送設備・スプリンクラー設備・屋内消火栓設備・排煙設備・防火ダンパー設備・防火扉・非常用シャッター及び消火器点検（年２回）
防火対象物定期点検【法】		消防法に基づき防火対象物点検資格者による防火対象物の定期点検 ３年に１回（次回は、32 年度）
エレベーター設備点検【法】	同上	エレベーター昇降用油圧装置・扉開閉装置ほか（年４回）※遠隔月１回
電気設備点検【法】	同上	高圧回路接地抵抗・保護継電器試験・引込みケーブルを含む各高圧機器の絶縁診断及び接点の確認調整・油入変圧器の絶縁油酸価値測定及び低圧回路の絶縁測定（年１回）
自家用電気工作物の保安管理【法】	資格と専門的知識が必要なため	月次点検（月１回）・年次点検（年１回）・その他必要に応じて点検
地下タンク（灯油）漏洩検査【法】	同上	タンク・注入管・吸引管・通気管・戻り管の点検（３年に１回　※在庫点検・漏洩検査管点検等を実施している為） 30 年度実施予定
フロンガス漏洩点検【法】	同上	大ホールホワイエ、展示室、プラネタリウム、圏民ロビーのエアコン室外機フロンガス漏洩点検３年に１回（次回は、32 年度）
空気調和設備	同上	大小ホール冷温水発生機及び付帯設備の点検整備・自動制御回路およびエアーダンパー点検調整（シーズン前各 1 回／シーズン中２回）※フロンガスに係る点検を含む
舞台機構設備	同上	電動・手動の各種バトンのワイヤー等点検調整・小迫及びオーケストラ迫・音響可変装置の点検調整（大ホール年１2 回／小ホール年６回）
舞台照明設備点検	同上	大小ホールの調光卓・ＣＲ卓及び調光ユニットの点検調整･負荷回路の絶縁測定（年 2 回）

舞台音響設備点検	同上	大小ホール音響調整卓・周辺機器の調整点検（年１回）
電話設備	同上	自動交換機・内線電話機の点検調整（定期巡回　年 12 回）
自動扉装置点検	同上	東西玄関自動ドア及び多目的トイレ自動ドア調整点検（年２回）
ロールバックチェアスタンド及びプラネタリウム椅子点検	同上	小ホール電動式ロールバックチェアスタンド及びプラネタリウム椅子調整点検（年 1 回）
電動式屋根開閉装置点検	同上	圏民ロビー電動式トップライト調整点検（年２回）
スライディングパネル点検	同上	小ホール・展示室・研修室スライディングパネル点検調整（年１回）
加圧給水ポンプ設備点検	同上	制御回路及びポンプ設備調整点検・各階トイレ及び洗面所水圧調整（精密点検年１回・巡回点検年２回）
プラネタリウム保守点検	同上	投影機本体（年 2 回）及び補助投影機・操作卓（年１回）
プラネタリウム番組装填	同上	一般番組（年１回）幼児向け番組（年１回）
ピアノ保守点検	同上	グランドピアノ 4 台・アップライトピアノ 4 台（年 1 回）スタインウェイ１台（年２回）
舞台関係設備操作委託	専門的技術・知識が必要であり、委託による費用対効果が高いため。	３名（音響・舞台・照明　各１名）
機械警備	専門的設備が必要なため。	火災及び設備異常等の常時監視業務
特別清掃１	日常清掃ではできない部分の清掃のため。	エントランス・ホール風除室ガラス清掃／玄関周りフッ素樹脂鋼板清掃（それぞれ交代で年１回）
特別清掃２	同上	大小ホール・プラネタリウム等のカーペット清掃（年１回）
植栽管理	専門的技術・知識が必要であり、委託による費用対効果が高いため。	敷地内植栽の剪定（年２回）・消毒（年２回／適宜）等
清掃	清掃業務に係る技術の安定的な継承及び委託による費用対効果が高いため。	敷地内の施設等通常清掃（開館日）、ワックス清掃（年 12 回）

３　文化事業計画

３０年度は、文化庁等の「文化経済戦略」による文化政策等の変革に対する新たな取り組みが求められる中、大牟田市の文化政策等に関する基本方針等（大牟田市文化芸術振興プラン）を踏まえ、次の大牟田市制２００年へのスタートの年として、未来の市民のための地域

の文化資本整備を図るため、子ども育成事業など様々な事業に取り組みます。

優れた文化芸術に触れる鑑賞事業や参加型事業等を行い、内容の充実を図ります。さらに、身近な文化創造活動への参加意欲を喚起する機会の拡充に継続して努めるとともに、社会包摂及び地域の活性化に資する事業展開を図ります。

また、他都市の文化施設等とのネットワークを活用し、協働事業による広域での周知活動や経費の節減等、相乗効果による効果的な事業展開を図り、より一層の地域文化振興に努めます。

ジャンル	平成30年度	内容
音楽	第16回ありあけジュニアピアノコンクール	小学生～高校生を対象としたピアノコンクール
	第12回ぴあの１日マラソン	スタインウェイピアノを市民に開放し、音楽に親しんでもらうマラソンコンサート
	音楽の贈り物事業	館内や他施設に出かけてのミニコンサート等
	宝くじコンサート	親子で楽しめるオーケストラコンサート（那珂川町との連携事業）
	子ども音楽育成事業	ウィーンフィルの元コンサートマスターであるダニエル・ゲーテ氏率いるピアノ三重奏団によるの子どものためのコンサート
	クリスマス ファミリー コンサート	季節にちなんだテーマで身近に気軽に生演奏に親しんでいただく機会を提供するコンサート
文化講演会	平田オリザ講演会とワークショップ	平田オリザ氏による講演とワークショップ
	文化講演会	専門分野の講師等による講演会
伝統芸能	育成ワークショップ	伝統文化の育成に資するワークショップ
美術	第74回県展筑後展	質の高い美術作品を紹介する福岡県展巡回展
	第42回九州青年美術公募展	青年作家の発掘と育成を目指す美術公募展
	第36回有明美術展	有明地域の作家による美術展
その他	ふるさと支援事業	地域の文化団体等との協働で、若者の文化活動やまちづくりに資する事業を実施
	文化体験事業	多彩な文化活動に触れる事業を開催
	憩いのmori事業（プロジェクト委員会等）	地域文化の振興や社会包摂に資する事業やワークショップ等を開催

	サロン de ライブ サロンコンサート	旧レストランスペースを活用して、文化活動者を支援するライブや、お茶を飲みながら気軽に楽しむコンサートを開催
	圏民ロビー事業、 マスコットキャラクター事業	圏民ロビーを活用した施設に親しんでもらう展示企画等及び施設のマスコット活用による施設アピール

4　プラネタリウム事業計画

プラネタリウムは、科学や自然への関心や理解を深めると同時に、豊かな感性を育み、癒しの空間という側面も持つ魅力ある施設です。

有明地域では唯一のこの施設の特色を活かして、地域や身近な環境への関心を喚起しながら、知識を深め、豊かな感性を育むことに寄与するよう、取り組んでいきます。

【一般投影】

平日の投影については、5名以上の予約投影枠とし、団体観覧者の誘致に努めます。

土・日・祝日や学校の夏季休暇中は、１日３回投影を行います。

［投影時間割］

曜　日	11：00	14：00	15：30
平　日	団体投影（予約のみ 9:00～15:00 の間で投影）		
土・日曜、祝日 夏季休暇	一般投影	一般投影	一般投影

［投影内容］

季　節	期　　間
春	３月　～　５月
夏	６月　～　８月
秋	９月　～　１１月
冬	１２月　～　２月
春（翌年）	３月　～　５月
幼児向け番組	６月から翌年５月まで（通年）

【学習投影】

学習投影については、小中学校の学習活動の一環として、学年毎に内容を調整しながら投影します。市内の小中学校については無料で観覧できます(年１回)。

【特別投影】

文化事業の一環として大人向け特別投影等を行うとともに、大蛇山まつりや炭鉱関連イベントに合わせ期間限定で文化会館オリジナル番組の投影などを行います。

ジ ャ ン ル	平 成 30 年 度	内　容
プラネタリウム	星空サウンドピクニック	テーマに沿った音楽をBGMに、生解説で季節の星空や天文現象等を紹介
	やすらぎプラネ りらっくスペース	施設を活用し、大人のための癒しの空間を提供
	ほしぞら探検隊	地域の星空観察を通して、身近な環境問題や宇宙への関心を高める観望会
	工作教室・体験教室	有明高等専門学校の学生や専門分野の講師等による創作プログラム作成や、日頃触れることのできない機器等の操作体験、簡単な工作教室など

※　プラネタリウム機器も老朽化が進み、投影に支障が出始めていることから、今後の施設の活用について検討を進めていく必要があると考え、有明高専との共同研究を進めています。